

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルてんじん		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ～ R7年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・朝礼などで職員間で話し合う機会をしっかりと作ることに よりコミュニケーションの充実を図り同じ方向で支援を行って いる。	・毎日の朝礼や日常の会話の中で子どもの関わり方について 話を行い、随時変更をかけている。その場にはいない職員に 対しても説明を行って全員が同じ方向を向いて支援を行って いる。 定期的に内部・外部研修を行っている。	・今後も研修の参加、実施しスキルアップにできるような 体制づくりを行う。
2	・活動をマンネリ化しないように法人全体で活動委員会を行 い、新しいものを取り入れている。	・月に1回委員会を開催し各事業所が取り組まれている 活動の共有を行い、事業所でいけるものを行っている。 常にアップデートを行っている。	・今後も委員会を通じていろんな活動を行っていく。
3	・ご家族に対して子ども達の様子をしっかりと伝えている。	・送迎時や連絡にて今日の様子など記入をしている。又 連絡帳に書けない内容の時には電話にてお話をしている。	・今後もしっかりと伝えられるように職員で共有を行って いく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・こども園や保育所、幼稚園との交流ができていない。 ・平行利用をしている子どもの連携がこども園、幼稚園、保 育所との間で図りにくい現状がある。	・利用開始時に並行利用している子どもが所属している施設へ 電話で連絡しているが、そこから連携につながるケースは 少ない。	・園と事業所側での話が進みにくい状況にある為、自立 支援協議会などに提案を行い改善の取り組みを行っていく。
2	・保護者会など家族が交流できる場を作ることができていな い。	・日時、時間の調整がなかなかできない。	・保護者アンケートなどで調査を行い、調整を行って いく又事業所でも保護者会ができるような体制づくりを行って いく。
3	・地域との交流など地域に開けた事業所運営ができていない。	・どのように交流を進めていいか方法が難しい。	・公的機関や交流ができていない事業所に助言を聞きながら 取り入れていく。